

平成31年度（令和元年度）事業報告の附属明細書

（1）国際交流・国際協力等推進事業

① 国際交流ラウンジ管理運営事業

国際交流ラウンジは、昨年度に青森県観光物産館アスパムのグローバルラウンジ内に移転し、今年度の11月からは同ラウンジ内に青森県外国人相談窓口をオープンした。

今年度は5月1日（水）から外国人からの各種問合せに対応する窓口を設置したが、さらに11月1日（金）からは正式に青森県外国人相談窓口となり、対応言語等の拡充も行った。

外国人相談窓口の円滑な運営のため、県内の関係機関とのネットワーク強化を図るとともに、国際交流ラウンジの運営を担う職員の育成のため、国が行う研修会への派遣等を行った。

そのほか、国際交流ラウンジにおいては、県民に国際交流に係る情報提供等を行うとともに、以下の公開講座等を実施した。

<国際交流ラウンジ事業>

【国際理解講座】

第1回 9月28日（火） 「世界をのぞいてみよう！～青森からできる国際協力～」

講師：JICA 青森デスク 遠藤久美子氏

第2回 11月27日（火） 「世界をのぞいてみよう！～ベトナム・ネパール～」

講師：日本人材協同組合 奥崎一志氏
青年海外協力隊OB 間山 創氏

【来青外国人おもてなしイベント及び外国文化紹介ミニ講座】

第1回 4月24日（土） 折り紙体験講座

大型客船外国人旅行者に対して、桜、カブトなどの折り紙を紹介。

主担：運営サポーター 鎌田和子

第2回 7月19日（金） 「台湾ミニ文化講座「元寶を作ってみよう！」」10月まで継続実施。

台湾のお葬式や火葬事情など台湾の風習を学ぶ国際理解講座も実施。

主担：運営サポーター 戴 淑貴

第3回 1月25日（土） 折り紙体験「もうすぐバレンタイン」

ハートやパッケージの折り紙を紹介。

主担：非常勤職員 鎌田和子

【ラウンジスペースを活用した共催イベント】

第1回 4月13日 第1回おはなし会（青森おはなし広場実行委員会主催）

第2回 6月 1日 第2回おはなし会（ // ）

第3回 7月20日 第3回おはなし会（ // ）

第4回 10月12日 第4回おはなし会（ // ）

第5回 11月10日 第5回おはなし会（ // ）

第6回 1月18日 第6回おはなし会（ // ）

延べ参加者数 210名

<青森県外国人相談窓口運営事業>

○各言語の曜日・時間

対応言語	曜日	時間
日本語	火曜日～土曜日	10：00～17：00
ベトナム語	火曜日	10：00～14：00
中国語	水曜日・金曜日	10：00～14：00
英語	水曜日、土曜日	10：00～14：00

韓国語	木曜日	10:00～14:00
-----	-----	-------------

上記以外の言語（ネパール語・インドネシア語・タガログ語・タイ語・ポルトガル語・スペイン語）は、翻訳機を使用し対応する。

○相談件数

5月1日～10月31日 29件

*当該期間は「外国人問い合わせ窓口」して運営し、その間の問い合わせ件数を計上

11月1日～ 3月31日 27件 (合計56件)

② 民間国際活動助成事業

国際交流・協力事業を実施する県内非営利団体へ民間国際活動団体助成金を交付した。
(総事業費の2分の1又は10万円のいずれか少ない額)

○交付：3団体、助成総額：270千円

○助成に係る事業参加人数：延べ1,450名

No.	団体名	団体所在地	事業名	参加人数
1	藤崎町国際交流協会	藤崎町	第24回国際交流風フェスタ in ふじ崎 2019	800
2	弘前日本語クラブ	弘前市	日本語講座及び国際交流	600
3	七戸町国際交流推進事業実行委員会	七戸町	七戸町国際交流推進事業	50

③ 国際交流情報発信事業

i 協会情報誌「あおり国際交流つうしん」の発行

国際交流情報の提供として「あおり国際交流つうしん」を年4回発行した。

7、9、12、3月の4回発行 発行部数 1,300部/回

ii インターネット情報受発信事業

公益財団法人としての閲覧事項や国際交流・国際支援・地域多文化共生に関するホームページ及びフェイスブックの管理・運営を行った。

ホームページへのアクセス件数 21,329件 (※平成30年度：22,241件)

④ 国際協力推進事業

独立行政法人国際協力機構東北センター青森デスクと連携し、9月には講演会「世界をのぞいてみよう！～青森からできる国際協力～」、11月には講演会「世界をのぞいてみよう！～ベトナム・ネパール～」を実施した。

⑤ 青森県ゆかりの海外在住者支援事業

i 海外県人会活動促進事業

青森県から補助を受けて、海外県人会が行う活動に対して助成を行った。(今年度で事業終了)

・助成対象：海外5県人会(ブラジル2、米国2、香港1)。

・助成額：団体の規模、活動状況等に応じて1団体当たり5万円～52万円(県の補助金に協会が上乗せして助成)

ii 海外技術研修員受入事業

今年度は、研修員の受入れがなく、県からの依頼により他都道府県の本事業類似の事業の実施状況等について調査を行った。

(2) 多文化共生推進事業

① 民間圏域拠点連携推進事業

県内の民間団体を活かした圏域ごとの多文化共生のネットワークづくりを推進する事業であり、各圏域での外国人受入の取組みが進捗するよう、今年度から3か年、毎年度2か所で実施する。今年度は地元市や関係団体との連携のもと7月に弘前市立和徳小学校でベトナム人技能実習生と、1月には八戸市上長公民館でフィリピン人技能実習生と地元の方々との交流の機会を設けた。

② 外国籍児童等学習支援事業

今年度は、青森県教育委員会が主催する「日本語指導が必要な外国人児童生徒担当教員等連絡協議会」（9月）のメンバーとなり本県外国人の推移等を報告したほか、弘前大学等が主催する「外国につながる子どもの教育支援研究会」のメンバーとなり、日本語指導サポーターの小中学校への派遣ネットワークづくりを関係機関と連携して推進することとした。

③ 日本語学習サポーター等養成事業

今年度から3年間で多文化共生社会の地域社会づくりに向けた人財確保策として青森大学、青森中央学院大学及び関係NPOと連携して日本語指導サポーターの養成（“日本語指導サポーター100人養成作戦”）を行うこととし、8月から全11日に及ぶ養成講座を開始した。12月に実習が終わり、41名が修了し、当協会の日本語指導サポーターとして登録となった。なお、修了者に受講料全額の返却を行った。

④ 災害・緊急時の滞在外国人支援事業

弘前大学及び弘前市と連携し、4月には大地震発生の際に弘前公園内の外国人観光客を避難場所まで「やさしい日本語」で誘導する部分訓練を実施するとともに、9月は同市の総合防災訓練において大地震発生の際にスポーツ施設から「やさしい日本語」で外国人を退避・誘導する訓練を行った。

(3) 地域国際化推進事業

① 国際人財づくりと人財ネットワーク化事業

i 三沢基地内大学県民就学推進事業

青森県から補助を受けて、国際感覚豊かな人材育成を図るため、三沢米軍施設内にある大学及び大学院に就学を希望する者の募集、選考及び指導業務を行った。

【対象】 日本国籍ほか、一定の資格を有する者

【入学者】 秋期入学者4人、春期入学者9人

(計13名のうち、ブリッジコース11名 レギュラーコース2名)

【主な事業内容】

- ・秋期・春期ごとに就学説明会（4月13日（土）、11月16日（土））。参加者は秋期19名、春季27名）を実施した。春季への説明会では、三沢基地及びメリーランド大学の協力によりブリッジコース希望者向けの模擬授業を実施した。
- ・就学希望者の便宜のためTOFEL・ITP試験を実施した。
- ・就学激励会 8月31日（土）
- ・三沢基地教育訓練部及び基地内大学との打合せ 7月3日（水）、8月29日（木）、9月10日（火）

ii 青森県留学生交流推進協議会への助成・協力

留学生と県民との交流を目的とした同協議会事業へ協力・参加した。

- ・青森県留学生交流推進協議会総会・運営委員会合同会議 3月25日（月）

- ・第26回青森県留学生交流ジャンボリー 11月9日（土）～10日（日）

【場所】 南部町

【参加人数】 64人

iii 国際交流ボランティアの活動推進

- ・通訳、ホームステイ等に協力するボランティアを募集・登録し、地域で多文化共生等の取り組みを行う場合に対応するボランティアの紹介を行った。今年度のボランティアの依頼は8件で、語学ボランティアとして3名が対応した。

※語学サポーターの登録者数は60名、ホストファミリーサポーターの登録者数は15名（2020.3.31現在）

- ・青森県在住の外国人に係るネットワークの強化に資する活動を行う団体・個人が当協会に登録した場合に協会が共催等による支援を行う事業。今年度は県内在住の留学生中心に「おはなし会」が国際交流ラウンジ等において6回開催された。

② 姉妹都市交流その他民間海外交流推進事業

今年度は、県から委託を受けた海外交流促進コーディネート事業により台湾については主に大学間の交流を推進するとともに、韓国については日韓文化交流基金事業による韓国青年訪日団（学生等約80名）を約1週間にわたって受け入れ、県内各地での交流事業の支援を行った。このほか、県内の民間団体による海外交流推進のための各種支援を行った。